

大津町地域通貨「水水」の交付が始まります

皆さん一人一人の手によって、大津町をさらに元気なまちにしていこうことを目指す「元気大津づくり活動事業」は、4月で6年目を迎えます。4月からは平成24年度中に行われた“元気大津づくり活動”に対する地域通貨「水水」の交付が始まります。

地域通貨「水水」の交付申請手続き

- 申請窓口 役場企画課 地域づくり推進係
- 申請期間 4月8日(月)～5月31日(金)
(土・日曜日、祝日は除く)
午前8時30分～午後5時15分
- 申請に必要なもの
 - 平成24年度元気大津づくり活動報告書
 - 申請に来る人の印かん
 - 代理の人(家族以外)が申請する場合は「委任状」

住民登録団体一覧 (2月28日現在)

区分	団体名
行政区 など	自治会
	大津東区
	杉上区
	桑善区
	老人会
	大津東区光寿会
	上町老人会
	桜丘区老人クラブ桜花会
	下町長寿会
	中陣内老人クラブ高砂会
	中島老人会
	美咲野会
	子ども会
	上陣内子ども会
	上猿渡分団子供会
NPO法人	その他
	日吉ヶ丘ふれあい隊
	室っ子応援団
	森ふれあいサロン
	NPO法人クラブおおづ
	明日の観光大津を創る会
	大津町国際交流協会
	大津町剣道連盟
	大津スキークラブ
	おおづ図書館友の会
	大津町商工会女性部
	大津町エコライフグループ
	大津町女性の会
	なかよし広場
	J A女性部瀬田
ボランティア団体	万葉会
	南杉水オレンジ隊
	もったいない隊

参加登録募集中！

地域通貨「水水」を手に入れるには、事前に元気大津づくり活動への参加登録が必要です。申請をお待ちしています。



活動報告書により、1週間あたり15分以上の活動を1回＝25水水として計算します。
1年間毎週活動した場合は、52週×25水水＝1300水水となり、「水水」が13枚もらえることになります。

地域通貨「水水」の使い方には、次の3つの方法があります。

1 町内で自由に流通

- お手伝いをしてもらったときなどの感謝の気持ちとして「水水」を渡すことができます。
- 地域通貨協力店で「水水」と引き換えに特典を受けることができます。
※特典内容は各店舗で異なりますので、ご注意ください。

2 町の施設の使用料や手数料

- 町指定ゴミ袋との交換
※役場のみ交換可能です。一般小売店での「水水」との交換はできません。
- 町が発行する証明書の交付手数料
(住民票の写し、印鑑証明、所得証明、納税証明など)
- 大津町総合体育館トレーニングルームの使用料
※回数券には使えません。

3 登録住民団体への寄付

- 「水水」を寄付することで、住民団体の活動を応援することができます(登録住民団体に、寄付ができます)。

※登録団体以外は、お金と交換することはできません。

地域通貨「水水」協力店一覧 (届出順)

店名	特典内容
味の天津屋 (大津)	飲食をすると「水水」1枚で100円引き
インテリア白川 (大津)	「水水」1枚でコーヒー1杯サービス
ビューティーコロナ (大津)	1枚でカードポイント2点サービス
JA菊池 とれたて市場 (大津)	1,000円以上お買い上げの人に「水水」1枚で100円引き
村上写真館 (大津)	1,000円以上お買い上げの人に「水水」1枚で100円引き
大津温泉 岩戸の里 (外牧)	「水水」1枚で入館料100円引き
よりみち (大津)	飲食をすると「水水」1枚で100円引き
ギャラリー&和カフェ 水車物語 (室)	飲食をすると「水水」1枚で100円引き
文洋堂 (大津)	1,000円以上お買い上げの人に「水水」1枚で100円引き

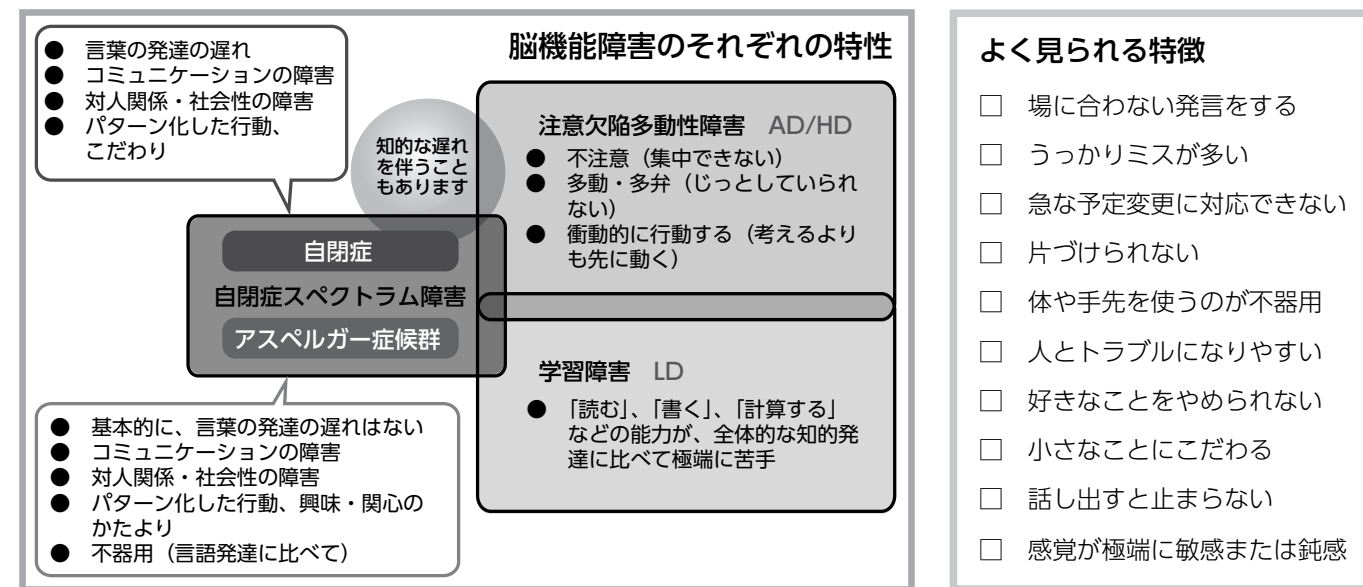
●申し込み・問い合わせ 役場企画課 地域づくり推進係 ☎096(293)3118

発達障害について知ってください

ー理解と支援のために(その1)ー

発達障害は、脳機能障害の総称で、脳機能の発達が関係する生まれつきの障害です。情報処理能力にばらつきがみられ、コミュニケーションや対人関係をつくるのが苦手とされています。また、感覚(見え方、聞こえ方、接触、味覚、温痛覚など)が敏感なことも多く、見た目には分か

りづらいため理解されにくい障害です。子どもだけでなく、大人にもみられます。また、その行動や態度は「自分勝手」「変わった人」「困った人」と誤解されがちです。しかし特性を理解し、周囲がサポートをすることで、障害に関わらず、個々の能力を発揮することができるようになります。



どんなサポートをすればいいの？

まずは本人が何を考えているかを知り、得意なことや苦手なことを踏まえて「必要な支援は何か」「どう工夫すればできるようになるか」を考えることから始めましょう。そして、せかしたり批判したりせずに見守り、本人の努力を認める事がとても大事なサポートとなります。

発達障害の症状は見た目にはわからないことが多く、障害の程度もさまざまです。年齢や生活環境などによっても症状は違います。周りに理解されない状況が、いじめや暴力につながりやすく、うつ病などの原因になることもあります。

発達障害啓発週間

4月2日(火)～8日(月)

啓発週間に合わせて、自閉症関連図書の特別展示を行います。

- 場所 おおづ図書館
- 展示期間 4月2日(火)～14日(日)

できることを認めて、ほめる

- 本人の話、考えていることをきく
- 個性や症状の違いを認める
- できないことは、もっと良くなる方法を具体的に伝える



できるように伝える

- 「あれ」「そこ」などの指示語は使わず、「コップ」や「何番目の」といった具体的な言葉を使う
- 絵や写真を使って説明する
- 短い言葉や文章で分かりやすく伝える



できる環境をつくる

- 信頼関係を築く
- 社会のマナーやルールについて教える
- 苦手なことも、小さなことからやる仕組みをつくる
- 物忘れが多い人にはメモや色分けなどで思い出すきっかけをつくる
- 読み・書きなどが苦手な人は電子機器などを活用する

●問い合わせ 役場健康福祉課 福祉係 ☎096(293)3510